

2022年度事業計画書

法人の名称
特定非営利活動法人
神奈川県中途失聴・難聴者協会

1 事業活動方針

現在、難聴者等のコミュニケーションの充実のための事業や難聴者等の情報保障を担う要約筆記者の養成事業について、神奈川県聴覚障害者福祉センター（以下、センター）に協力して進めている。2022年度はさらに当協会が主体となって、様々な手法や場所で手話勉強会を開催するなど、社会に出てこられない難聴者等を掘り起こし、QOL（クオリティ・オブ・ライフ）を上げる施策を積極的に進めていく。

2 事業内容

(1) 難聴者等のコミュニケーションの充実のための社会教育事業

① コミュニケーション講座、難聴者サロン、難聴者等のための手話講習会

- ・内 容 センターで実施しているきこえに困っている方及びそのご家族を対象とした企画に講師を派遣するなど協力する
- ・日 時 通年
- ・場 所 センター
- ・従事者人員 6～7人程度
- ・受益対象者 神奈川県にお住まいのきこえに困っている方及びそのご家族 多数
- ・支出見込額 0円

② 難聴者のための手話勉強会

- ・内 容 手話が初めての難聴の方でも分かりやすいように要約筆記をつけて実施する
- ・日 時 原則、毎月第2・第4火曜日・最終土曜日に開催（計32回予定）
- ・場 所 センター、海老名総合福祉会館、Zoomミーティング
- ・従事者人員 8～9人程度
- ・受益対象者 神奈川県にお住まいのきこえに困っている方及びそのご家族 多数
- ・支出見込額 91,500円

③ 社会教養講座

- ・内 容 聴覚障害者の方々が日常生活をより豊かにし、社会参加を促進するために（主にコミュニケーションに関する）社会教養が身につく講座を実施する
- ・日 時 年3回程度
- ・場 所 センター ほか
- ・従事者人員 2～3人程度
- ・受益対象者 神奈川県にお住まいのきこえに困っている方及びそのご家族 多数
- ・支出見込額 18,000円

(2) 難聴者等の諸問題解決のための情報収集・提供事業及び他団体との連絡調整事業

- ・内 容 上部団体及び他団体との会議等に参加し、情報収集・意見交換を実施する。また、会報やホームページにて、会員などに有益な情報を提供する。
（全難聴総会・研修会、関東ブロック総会・理事会・研修会、県福祉課との意見交換会、全要研神奈川支部研修会等へ出席）
- ・日 時 通年

- ・場 所 関東圏内（上部団体）、神奈川県域（他団体）
- ・従事者人員 10人程度
- ・受益対象者 神奈川県にお住まいのきこえに困っている方及びそのご家族 多数
- ・支出見込額 21,000円

(3) 緊急・災害時における聴覚障害者の救助・救援に関する事業

- ・内 容 災害対策県域本部会議に参加し、解決すべき対策及び実行活動をする。また神奈川県内で行われるビッグレスキューへ災害対策本部として参画し、難聴者などの災害時における啓発活動を行う。
(県域災害対策本部会議への出席、ビッグレスキューかながわへの参加)
- ・日 時 月1回程度
- ・場 所 聴障センター
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 神奈川県にお住まいのきこえに困っている方及びそのご家族 多数
- ・支出見込額 8,000円

(4) 難聴者等や耳マーク、ヒアリンググループ等の広報・啓発に関する事業

① 会報発行

- ・内 容 年間4回会報を発行し、難聴者等にとって有益な情報を提供する
- ・日 時 6月、9月、12月、3月（予定）
- ・従事者人数 10人程度
- ・受益対象者 きこえに困っている方及びそのご家族、一般の方 多数
- ・支出見込額 57,270円

② 耳マークグッズ等の販売及び聴覚障がい啓発リーフレット配布

- ・内 容 耳マークを社会一般に認知してもらうと共に、聴覚障がいに関する説明のリーフレットを作成し、啓発活動を行う
- ・日 時 随時
- ・従事者人数 4人程度
- ・受益対象者 きこえに困っている方及びそのご家族、一般の方 多数
- ・支出見込額 24,300円

③ ホームページ

- ・内 容 随時、難聴者等にとって有益な情報を提供すると共に、一般の方や孤立している難聴者等への啓発活動を行う。
- ・日 時 随時
- ・従事者人数 2人
- ・受益対象者 きこえに困っている方及びそのご家族、一般の方 多数
- ・支出見込額 4,200円

④ 当協会の入会案内書を印刷し、当協会の活動への理解を得る

- ・内 容 当協会の認知を広め、入会希望者へ入会案内書を配布する
- ・日 時 随時
- ・従事者人数 2人
- ・受益対象者 きこえに困っている方及びそのご家族、一般の方 多数
- ・支出見込額 650円

(5) 難聴者等に係る相談支援事業

- ・内 容 センターと協力し、各地域に出向いてきこえに関する相談会を開催・支援する。(聞こえの生活相談会、会員・地域のピアカウンセリング)

- ・日 時 年2回程度
- ・従事者人員 2人程度
- ・受益対象者 神奈川県にお住まいのきこえに困っている方及びそのご家族 多数
- ・支出見込額 4,000円

(6) 難聴者等の社会参加促進を支援する事業

- ・内 容 字幕付き映画情報の提供、劇場等へのヒアリンググループ設置働きかけ
- ・日 時 随時
- ・従事者人員 1人程度
- ・受益対象者 神奈川県にお住まいのきこえに困っている方及びそのご家族 多数
- ・支出見込額 0円

(7) 要約筆記者養成事業

- ・内 容 センター主催の要約筆記者養成講習会（法定事業）への講師派遣
要約筆記者養成委員会や要約筆記者派遣運営委員会等への出席
要約筆記啓発活動の実施
三者共催要約筆記者研修会への協力
- ・日 時 要約筆記者養成講習会は、年間全42回程度
各委員会は、年5～6回程度
要約筆記啓発DVDの県域各市町村への配布活動
三者共催要約筆記者研修会は、年1回開催予定
- ・場 所 聴障センター（啓発活動は、県域市町村）
- ・従事者人員 10人程度
- ・受益対象者 神奈川県にお住まいのきこえに困っている方及びそのご家族 多数
- ・支出見込額 21,000円
（三者共催講師謝金及び啓発DVD配布に関わる交通費として）

(8) 難聴者等の交流に関する事業

① 定例会

- ・内 容 会員や外部講師による講演会を、情報保障付きで実施する。会員及び中途失聴・難聴の同障者同士が悩みを打ち明け共感し、明るく前向きに社会参加できるよう、情報提供などを通じて活動や交流を深めていく。福祉バス「ともしび号」を使つての屋外例会を企画する。神要協字幕部の協力で字幕付きビデオ鑑賞会を開催する。新型コロナウイルスの影響で参集しての活動が難しい状況が続くが、会員及び中途失聴・難聴者同士の交流が途切れないよう、工夫して例会を開催する。
- ・日 時 年間6～8回程度
- ・従事者人員 3～4人程度
- ・受益対象者 神奈川県にお住まいのきこえに困っている方及びそのご家族 多数
- ・支出見込額 10,000円

② センターまつり

- ・内 容 センターで開催されるセンターまつりに協力する
- ・日 時 年1回程度
- ・従事者人員 2人程度
- ・受益対象者 神奈川県にお住まいのきこえに困っている方及びそのご家族 多数
- ・支出見込額 1,500円